

< 参考 2 >

台湾の電力事情

1. 台湾と当社の比較

	台湾全体	東京電力
発電設備	3,863 万 kW * IPP を含む	6,398 万 kW
水力	454 万 kW (12%)	899 万 kW (14%)
火力	2,870 万 kW (74%)	3,768 万 kW (59%)
原子力	514 万 kW (13%)	1,731 万 kW (27%)
その他	25 万 kW (1%)	0.4 万 kW (0%)
販売電力量	1,869 億 kWh	2,890 億 kWh

(台湾：2008年12月末(台湾電力ウェブサイトより) 当社：2008年度末)

2. 電力需要

順調な台湾経済を反映して電力需要も増加している。販売電力量は1999年には1,317億kWh、2008年には1,869億kWhを記録しており、至近10年間での年平均伸び率は約4.7%となっている。

3. 台湾における電力事業

台湾電力が台湾全土における発送電から配電までを一貫して受け持つ。台湾政府が株式の大部分を保有し、政府経済部(日本の経済産業省に相当)の監督下におかれている。

以上